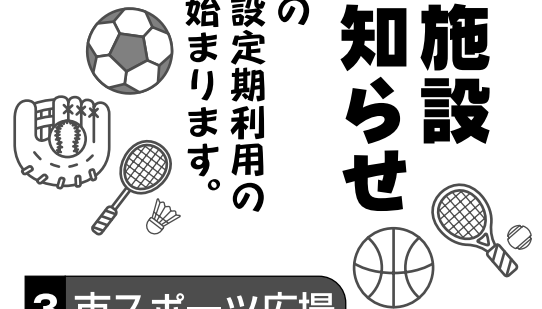


体を動かそう!

スポーツを楽しもう!

# スポーツ施設 開放のお知らせ

平成18年度の  
スポーツ施設定期利用の  
受け付けが始まります。



## 1 学校開放 市内にある22校の小中学校の体育館とグラウンドが利用できます。

利用できる期間 前期5月～10月、後期11月～4月

学校	施設	曜日と時間帯		利用できない日	
小学校	体育館	月曜～金曜	18:30～21:00	日曜	石狩小・花川小・生振小 南線小・八幡小・若葉小 緑苑台小・花川南小 花川中・花川南中 樽川中
		土曜	14:00～21:00		
	日曜	9:00～21:00			
小学校	グラウンド	月曜～土曜	5:00～7:30	水曜	紅葉山小・花川南小 緑苑台小・花川北中
		日曜	5:00～19:00		
中学校	体育館	月曜～日曜	19:00～21:00	木曜	紅南小
	グラウンド	月曜～日曜	5:00～7:30		

※学校の都合などにより開放を中止する日があります。グラウンド開放は10月末まで。

## 2 都市公園施設 野球場・テニスコート・陸上競技場などの屋外スポーツ施設があります。

利用できる期間 4月29日(土)～11月3日(金)

定期利用時間 5:00～17:00 夏期(6月～8月末) 5:00～19:00

名称	利用申込先
①若葉公園テニスコート(砂入り人工芝1面) ②紅葉山公園テニスコート(ハード1面・クレ-3面) ③紅葉山南公園テニスコート(ハード4面) ④若葉公園野球場 ⑤紅葉山公園野球場	紅葉山公園管理事務所 花川北2-3 ☎74-7417
①花川南公園テニスコート(砂入り人工芝2面) ②花川南公園野球場 ③樽川公園テニスコート(ハード4面) ④樽川公園野球場	花川南公園管理事務所 花川南6-5 ☎73-6917
①青葉公園テニスコート(ハード4面・クレ-4面) ②青葉公園野球場 ③青葉公園陸上競技場 ④ヤウスバ公園球場	青葉公園管理事務所 新港南3 ☎64-0555

※広く市民の方々に利用していただけるよう、テニスコートの利用回数を各団体、週1回とします。  
※土・日曜の定期利用はできません(利用を希望する団体は、単発の利用として申し込んでください)。

## 3 市スポーツ広場

ソフトボール球場(4面のうち夜間照明2面)、サッカー場(夜間照明2面)、ゲートボール場が利用できます。

利用できる期間 5月末～10月末

利用できる時間帯 8:00～21:00

施設	①ソフトボール球場4面 (うち2面はナイター設備あり) ②サッカー場(ナイター設備あり) ③ゲートボール場4面
利用申込先	(財)石狩市体育協会 (海洋センター内) ☎64-1220

## スポーツ安全保険への 加入をおすすめします

スポーツ安全保険は、スポーツ・文化・奉仕などを行う団体が安心して活動できるようにつくられた補償制度で、5人以上の団体なら誰でも加入できます。

### 【1人当たりの掛け金(年額)】

- スポーツ少年団・子ども会など中学生以下の団体と、文化・ボランティアなどの団体=500円(中学生以下で個人活動も対象とする時は1,050円・子どもの団体の指導者は1,000円)
- 老人クラブなど=800円
- ママさんバレーなどの地域スポーツ団体と、大学・会社によるスポーツクラブなど=1,500円

### 【対象となる事故】

グループ活動中の事故や、そのための往復途中の事故

【保険期間】 毎年4月1日～翌年3月31日

### 【申込・問合せ】

(財)スポーツ安全協会 ☎011-820-1079

申込用紙は各担当課・海洋センター・各コミセン・出張所・北洋銀行花川支店・花川北支店にあります。

## 定期利用の場合

施設名		申込・問合せ先	申込締切日
学校開放	厚田区の小中学校	厚田支所生涯学習課 ☎78-2250	3月20日(月)
	浜益区の小中学校	浜益支所生涯学習課 ☎79-2114	
	そのほかの地区の小中学校	スポーツ・青少年課 ☎72-3174	
都市公園施設		みどりの課 ☎72-6122	3月24日(金)
市スポーツ広場		市体育協会 ☎64-1220	

※市スポーツ広場は4月1日以降でも利用期間内は随時受け付けます(空いている曜日に限る)。

※希望施設や日時が重複した場合は調整をします。日時の変更、複数団体での利用、ほかの施設への変更をお願いすることがありますのでご了承ください。また、市・市教委の行事などにより使用できないこともあります。

※初めて利用を申し込まれる方は、詳細についてあらかじめ各担当課にご確認ください。

## 日にちを決めて単発で利用する場合

学校開放は学校に、都市公園は各管理事務所に直接申し込んでください。野球場、陸上競技場は、使用の30日前から、テニスコートは7日前から受け付けています。市スポーツ広場は、市体育協会ですぐ受け付けています。

## 施設利用申込用紙

学校開放(前期)と都市公園：各担当課のほか、B&G海洋センター・各コミセン・出張所にあります。  
(学校開放の後期受付は9月です)

市スポーツ広場：市教委・市体育協会(B&G海洋センター内)にあります。

## アオイガイの正体見たり！

昨秋、タコが作った貝殻が、石狩浜にたくさん流れ着きました。

「いしかり博物誌」第72回(12月号)でも紹介されたアオイガイです。紙のように薄く白い、渦巻き状の殻で、内側はぼつかりと空洞になっています。この中に入っていたはずのタコは、いったいどんなものだったのでしょうか。どうしても見てみたくなりました。

アオイガイの軟体部(タコの部分)はカイダコとも呼ばれ、卵を産んでふ化させるために、メスがこの殻を作ります。温・熱帯海域に生息していますが、昨年10月、石狩浜をはじめ道内各地の海岸で、アオイガイが大量に漂着しているのが相次いで発見されました。

と言っても、石狩浜で見つかるのは空っぽの殻ばかり。流れ着いた時にあったはずの中身は、すぐにカモメやカラスなどに食べられてしまうでしょう。海辺にある資料館としては、なんとか標本を手に入れたい。タコ入りアオイガイを探し続けましたが、一向に

見つかりません。

ところで、中身を食べてしまうのはカモメだけではありません。1982年、島根県沖で定置網に大量にアオイガイがかかるので、中身のタコを市場に出してみようです。するとけっこう売れ行きがよく、6千匹以上も出荷されました。酢のものや煮付にするとおいしかったとか。昨年秋に石狩周辺でアオイガイをたくさん拾ったある人は、その中にタコ入りも見つけたそうですが、なんと、炒めて食べてしまったそうです(こちらは、あまりおいしくなかった、とのこと...)。

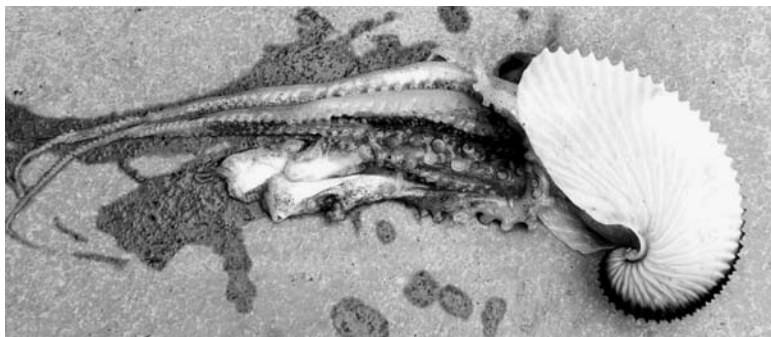
そんなところへ、「小樽市大浜で中身が3個体採集された」との情報が入りました。発見したのは札幌市の福田さん一家。なんでも、カモメに先を越されまいよう夜明け前から砂浜を歩きまわって探したそうです。福田さんと、最初に連絡を受けた札幌市博物館活動センターのご好意で、1個体を資料館でいただきました。とうとう念願のアオイガイの正

体とご対面！

カイダコは、殻から出してみると一見ふつうのタコでした。しかし二つ大きな特徴があります。4対8本ある腕のうち1対が、扇のように大きく平べったくなっているのです。実はこれが石灰分を分泌し、あのアオイガイを作り出す「道具」だったのです。

しかしカイダコの生体は、生活様式や寿命、分布範囲、なぜ大量漂着するのかなど、まだまだ分からないことだらけ。もし見つけたら資料館までご一報ください。むやみに食べないでくださいね…。

(志賀健司)



▲殻を持つのはメスだけ。メスの大きさは30cmくらいになりますが、オスは同じ種類とは思えないほど小さく、2cm以下しかありません。(撮影:福田さん)



▲アオイガイの中身、カイダコ。大きく平べったい腕(※タコに8本あるのは足ではなく腕)で殻を作ります。(撮影:福田さん)

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711  
✉i-museum@bz01.plala.or.jp  
■石狩浜海浜植物保護センター ☎72-3240  
✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp